

## 2. 京都外国語大学・京都外国語短期大学

|       |  |               |
|-------|--|---------------|
| テーマ   | 大学から地域社会へ:コミュニティ通訳認知度の壁を越え、大学の社会的役割～情報共有と実践課題～   |               |
| 発表代表者 | 佐藤 晶子:京都外国語大学 外国語学部 英米語学科 教授   |               |
| 連名発表者 | 河野 弘美:京都外国語短期大学 キャリア英語科 教授<br>戸田 行彦:京都外国語大学 英米語学科 講師<br>アイシュワリヤ・スガンディ:京都外国語大学 外国語学部 英米語学科 准教授  |               |
| キーワード | コミュニティ通訳   | 大学—小中高等学校との協働 |
|       | 地域連携モデル  | 人材育成          |
| 発表の概要 | <p>第 29、30 回 FD フォーラムの発表を通じ、本学のコミュニティ通訳教育は着実に発展してきた。第 30 回では、認知度向上活動と 6 領域の現状把握を報告し、2025 年度はその成果を基盤に、更なるコミュニティ通訳への正しい知識共有、地域連携への方策、また実践がうみ出す教育的効果の可能性、大学の社会的役割を検討する試みを行った。</p> <p>本発表では、それらの試みのうち以下の 3 つの調査結果に焦点をあて分析を報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 履修学生へのアンケート:学習効果とキャリア意識の変容</li> <li>2. 学内教職員へのアンケート:コミュニティ通訳教育の認知度と評価</li> <li>3. 公立中学校・高等学校教員へのアンケート:地域の多文化共生教育のニーズと連携可能性</li> </ol> <p>大学のコミュニティ通訳育成プログラムと初等中等教育機関との連携により、大学の役割の可能性が見えてくる。本発表では、大学の地域社会における役割と、持続可能な教育連携モデルの構築と課題について報告する。</p> |               |